

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年5月14日		使用開始日																						
登録診療科	血液内科		申請医師	上田 周二	化学療法委員会承認年月	平成 30年 6月																			
レジメン名	R-ASHAP(アブレタントカプセル)																								
疾患名	非ホジキンリンパ腫		適応の備考	CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫																					
適応分類																									
1コース日数	21	日間	総コース数	6	コース	催吐性リスク	day2-5: 高度、day6: 中等度																		
抗がん剤投与量・投与日 リツキシマブ375mg/m ² day1、ドキシソルピジン:10mg/m ² day2-5、シスプラチン25mg/m ² day2-5、キロサイド2000mg/m ² day6、ソル・メドロール500mg/m ² day2-6																									
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)																									
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	側管①	生食500mL	0.675	本 / m ²		●																			
	点滴静注	リツキシマブ注	375	mg / m ²	下記	●																			
10倍に希釈する。																									
2	側管	生食50mL	1	本 / body	5分	●																			
	点滴静注																								
3	側管①	アロキシ注ハッグ0.75mg	1	本 / body		●																			
	点滴静注	ソル・メドロール注	500	mg / body	30分	●																			
4	側管①	生食100mL	1	本 / body			●	●	●	●															
	点滴静注	ソル・メドロール注	500	mg / body	30分		●	●	●	●															
5	側管②	生食500mL	1	本 / body		●	●	●	●																
	精密持続静注	ドキシソルピジン注	10	mg / m ²	24時間	●	●	●	●																
総投与量は500mg/m ² まで。 Rp6のシスプラチンと同時に開始する。																									
6	側管③	生食500mL	1	本 / body		●	●	●	●																
	精密持続静注	シスプラチン注	25	mg / m ²	24時間	●	●	●	●																
Rp5のドキシソルピジンと同時に開始する。 シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する。																									
7	側管①	生食500mL	1	本 / body						●															
	点滴静注	キロサイド注	2000	mg / m ²	3時間					●															
キロサイドと同量の生食を抜いてから混注する。																									
8	側管	生食50mL	1	本 / body	5分					●															
	点滴静注																								
9	経口投与	ボララミン錠2mg	1-3	錠 / body		●																			
	経口投与	ジクロフェナクNa錠25mg	1	錠 / body		●																			
リツキシマブ投与の30分前																									
10	経口投与	アブレタントカプセル	125	mg / body			●																		
	経口投与																								
シスプラチンの投与1時間~1時間30分前に服用																									
11	経口投与	アブレタントカプセル	80	mg / body			●	●																	
	経口投与																								
分1午前中に服用																									

【投与上の注意】

アブレタントカプセル: 各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。成人で5日間・12歳以上の小児で3日間を超えて投与した際の有効性及び安全性は確立していない。
 アブレタントカプセル: 原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型吐剤と併用して使用すること。
 アブレタントカプセル: 抗悪性腫瘍剤の投与1時間~1時間30分前に投与し、2日目以降は午前中に投与すること。
 キロサイド: 大量投与時、結膜炎予防のためのステロイド点眼を行う。例えば0.1%フルメロン点眼、1日3回、両眼、キロサイド投与前日から投与終了の翌日まで。
 シスプラチン: 希釈は生食のみ。
 シスプラチン: 腎毒性軽減のためhydrationが必要。
 リツキシマブ: 前投薬としてボララミン(2)1~3錠、ジクロフェナクNa(25)1錠を内服する。
 リツキシマブ: 初回はECGモニターをつける。
 リツキシマブ: 投与速度は初回は25mL/h×1h、100mL/h×1h、残りは200mL/hとする。
 リツキシマブ: 2回目以降はinfusion reaction が初回になければ100mL/h×1h、残りは200mL/hとする。
 hydrationのため、day2-day6まで、補液を投与する。